

新聞による歴史

新湊中学校

三年

川口

恭平

僕はある時、新聞についてのみが読んで思うところがある。

新聞は人類の軌跡だ。

新聞の歴史は長く、始まりは紀元前ローマにまで遡る。そのときの内容は元老院の会議、今でいう国会にあたるもの、内容を書いたものだ。新聞は壁に書かれてあり、多く

射水市立新湊中学校

人が集まっていた。現代の新聞とは大きく違うが、新しい新聞は情報を多くの人に伝えるという点では同じだ。しかし、キリスト教が広まると、衰退していったが、ルネサンスにより、印刷という技術が生まれ、内容も様々なものが書かれていた。日本でも、江戸時代に、互版が生まれ庶民に親しまれた。そして現在では、多くの情報が速く伝えられ、子どもでも読めるような記事が載せている新聞も多々ある。

この歴史から、新聞の形の変化により、この情報が伝えられたか、新聞に書かれています。このことを読むと、その方向から人類がたどった道を知らることができよう。

しかし、人類の歴史を語ることができる新聞は、いついともう一つ思うことがあろう。それは、情報に嘘を書いてはいけなむということだ。なぜかというところ、新聞は大変信憑性が高いものだから、後世まで残るだろう。そこで後世の人々が「新聞」の記事を見てしまふと、その

射水市立新湊中学校

「新聞」は、たゞことが事実として固定されるから、例えは、太平洋戦争中の日本は、政府により、戦争の状況を国民に新聞で伝えられた。しかし、新聞には、嘘のことが書かれており、事実が書いてあるアメリカの新聞とは大きく違っている。だが、日本国民は、嘘を本音を思い、終戦まで負けていたという事実を知らなかつた。たといことが実際に起きていた。これにより、日本がどこまで進んだか、新聞が書かれたか分かるが、嘘の情報が固定

されておき、日本国民がどのようには受け止め  
ているのかも分かることかできる。

だから、新聞には、嘘のことを書かずに、  
事実を正しく書き、後世の人々に伝えていく  
必要があると思っただ。

現在、インターネットやTVが普及し、そ  
こでも情報を新聞より速く伝える。し  
かし、それらは、第三者による嘘や事実を誇  
張して伝えている場合も多々ある。だからこ  
そ、正確な情報が書かれている新聞を読み、

射水市立新湊中学校

事実を知り、伝えていくこと、今ある新聞  
を後世まで残し、作るべく伝えること  
と、それが僕達若者にしてやることはないか。